



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月10日

東

上場会社名 丸一鋼管株式会社 上場取引所

コード番号 5463 URL <http://www.maruichikokan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 鈴木 博之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 河村 康生 (TEL) 06-6531-1201

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 平成26年11月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	75,145	18.2	9,444	△0.1	10,229	△5.6	6,842	4.4
26年3月期第2四半期	63,558	9.4	9,457	33.8	10,834	36.2	6,552	313.5

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 7,838百万円(△46.6%) 26年3月期第2四半期 14,678百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	80.75	80.68
26年3月期第2四半期	77.34	77.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	306,102	247,039	77.2
26年3月期	300,482	242,520	77.3

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 236,415百万円 26年3月期 232,351百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	25.00	—	48.50	73.50
27年3月期	—	25.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	48.00	73.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	152,300	11.5	19,000	△5.4	20,600	△8.8	13,500	△1.8	159.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	94,000,000株	26年3月期	94,000,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	9,265,370株	26年3月期	9,265,038株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	84,734,787株	26年3月期2Q	84,732,673株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や円安による企業収益の回復などから景気は緩やかな回復基調で推移していますが、消費税増税や円安による原材料価格の上昇など消費の押し下げ要因も見られます。一方、海外では米国経済は安定しているものの、欧州経済の低迷や新興国経済の成長の鈍化などもあり、世界的な景気の先行きは不透明な状況が続いております。

(日本)

今上期の国内事業につきましては、第1四半期は消費税増税の影響が心配されたものの、当社の主力製品である建築・土木用鋼管需要及び雪害の復旧目的の農業用鋼管の販売増により、販売数量は堅調に推移してまいりましたが、第2四半期は期待に反し、建築・土木用鋼管は荷動きが悪く、円安下でも自動車用鋼管の回復も無く、唯一関東圏の雪害復旧目的の農業用鋼管のみが忙しい状況で終わりました。一方、製品価格については、前期末の高炉メーカーのコイル値上げによる原材料コスト上昇分を製品価格に転嫁すべく注力致しましたが、国内市況に上昇力が無く未達に終わり材料コスト高が残りました。

以上により国内事業の売上高は492億5千2百万円(前年同期比8.8%増)、セグメント利益は92億4百万円(前年同期比0.5%増)の結果となりました。

(北米)

北米事業につきましては、第1四半期連結会計期間より、自動車向け鋼管を生産するメキシコのマルイチメックス S.A. de C.V. (Maruichimex社) を重要性が増したため、新たに連結の範囲に含めております。

米国のマルイチ・レビット・パイプ・アンド・チューブLLC (Leavitt社) の販売数量の増加及びマルイチ・アメリカン・コーポレーション (MAC社) の堅調な業績により、売上高は105億7千3百万円(前年同期比25.4%増)と増加し、セグメント利益1億1千万円を計上致しました。

(アジア)

アジア事業につきましては、ベトナムのマルイチ・サン・スチール・ジョイント・ストック・カンパニー (SUNSCO社) で新規設備の稼働に伴い販売数量が増加したことにより、売上高は153億1千9百万円(前年同期比55.2%増)と大幅に増加致しましたが、同地域の供給過剰による販売価格の下押し圧力や償却費等コスト負担増により、セグメント利益は6千7百万円(前年同期比78.7%減)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は751億4千5百万円(前年同期比18.2%増)、営業利益は94億4千4百万円(前年同期比0.1%減)、経常利益は102億2千9百万円(前年同期比5.6%減)、四半期純利益は68億4千2百万円(前年同期比4.4%増)を計上いたしました。

なお、対米ドル換算レートは1米ドル102円47銭であります。

## (2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は3,061億2百万円(前連結会計年度比56億1千9百万円の増加)となりました。

主な内容は、流動資産については、投資有価証券の売却などにより現金及び預金が24億2千万円、受取手形及び売掛金が14億1千9百万円増加したことにより、流動資産合計で34億3百万円増加しました。固定資産については、株式市場の時価上昇による有価証券の評価差額金の増加などにより投資有価証券が15億9千1百万円増加したことにより、固定資産合計で22億1千6百万円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は590億6千2百万円(前連結会計年度比11億円の増加)となりました。

主な内容は、流動負債については、支払手形及び買掛金が18億4千4百万円増加したことにより、流動負債合計で15億1千4百万円増加しました。固定負債については、繰延税金負債が14億9千5百万円増加しましたが、長期借入金が15億9千4百万円減少したことにより、固定負債合計で4億1千4百万円減少しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,470億3千9百万円(前連結会計年度比45億1千9百万円の増加)となりました。

主な内容は、利益剰余金が配当金の支払いにより41億9百万円減少しましたが、四半期純利益68億4千2百万円などにより28億5千8百万円増加し、その他有価証券評価差額金が22億1千2百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月7日に公表いたしました業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、本日開示しております「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

セグメント別の今後の見通しについては、以下のとおりです。

(日本)

国内事業につきましては、景気の先行き不透明感による鋼材市況への影響などが懸念されますが、秋の需要が見込まれる建築・土木用鋼管や円安を追い風とするユーザー向けの需要の補足に努めてまいります。一方、原材料のコイル価格上昇分の転嫁が依然として課題であります。スプレッド回復に努めてまいります。生産に関しては、新東京工場への集約など生産性の向上に努めることなどでコスト削減に注力してまいります。また、太陽光発電事業については引き続き計画分の事業を進めてまいります。

(北米)

北米事業につきましては、Leavitt社では増強した設備をフルに稼働し建築用・自動車用・エネルギー分野の需要に対応し、販売の拡大に努めてまいります。また、来年初めに北西部のワシントン州において新たに土地を取得し、鋼管製造工場を建設致します。同地域での供給体制の整備をはかり西海岸部での販売の拡大につなげてまいります。メキシコのMaruichimex社では、拡大する自動車生産に対応するためにアグアスカリエンテスの敷地内に第2工場の建設を進め、更にケレタロの工業団地に用地取得を進めています。一方、新たに設立した自動車用パイプの加工を行うALPHAMETAL MEXICO S.A. de C.V.と協働して、供給拡大を図ってまいります。

(アジア)

アジア事業につきましては、ベトナムのSUNSCO社では、高品質の製品を安定的に拡大する市場に供給するために第2メッキ・カラーラインを導入したことに加え、同地域の日系ユーザーのニーズに対応出来るよう小径鋼管用2インチ及び4インチミルを設置致しました。また、生産性の向上及びコストダウンにより、採算の改善に努めてまいります。また、インドのマリイチ・クマ・スチール・チューブ・プライベート・リミテッド(KUMA社)では、インド南部のステンレス鋼管の供給体制を強化するためにバンガロールにおいて第2工場の建設を進めております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が334百万円減少し、利益剰余金が215百万円増加しております。また、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益及びセグメント情報に対する影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	63,921	66,342
受取手形及び売掛金	33,098	34,517
有価証券	20,681	19,766
製品	9,351	9,086
原材料及び貯蔵品	15,897	16,252
その他	3,630	3,997
貸倒引当金	△252	△231
流動資産合計	146,328	149,731
固定資産		
有形固定資産		
土地	30,514	30,560
その他	51,120	51,818
有形固定資産合計	81,634	82,378
無形固定資産		
のれん	325	288
その他	1,371	1,429
無形固定資産合計	1,696	1,717
投資その他の資産		
投資有価証券	67,552	69,144
その他	3,270	3,130
投資その他の資産合計	70,823	72,274
固定資産合計	154,154	156,371
資産合計	300,482	306,102

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,625	21,469
短期借入金	6,706	7,014
未払法人税等	4,416	3,633
賞与引当金	861	859
役員賞与引当金	80	49
その他	5,772	5,950
流動負債合計	37,462	38,977
固定負債		
長期借入金	12,675	11,080
役員退職慰労引当金	52	58
退職給付に係る負債	3,405	3,072
繰延税金負債	4,151	5,646
その他	214	226
固定負債合計	20,499	20,084
負債合計	57,962	59,062
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,595	9,595
資本剰余金	15,821	15,821
利益剰余金	220,002	222,860
自己株式	△20,492	△20,492
株主資本合計	224,927	227,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,108	11,320
為替換算調整勘定	△1,615	△2,641
退職給付に係る調整累計額	△68	△48
その他の包括利益累計額合計	7,424	8,630
新株予約権	112	134
少数株主持分	10,056	10,489
純資産合計	242,520	247,039
負債純資産合計	300,482	306,102

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	63,558	75,145
売上原価	48,434	59,469
売上総利益	15,123	15,675
販売費及び一般管理費	5,665	6,231
営業利益	9,457	9,444
営業外収益		
受取利息	143	88
受取配当金	575	604
持分法による投資利益	149	251
為替差益	480	—
その他	335	382
営業外収益合計	1,683	1,327
営業外費用		
支払利息	73	154
為替差損	—	169
不動産賃貸費用	131	123
その他	101	94
営業外費用合計	306	541
経常利益	10,834	10,229
特別利益		
投資有価証券売却益	1	724
その他	0	15
特別利益合計	2	740
特別損失		
固定資産除却損	45	13
その他	10	0
特別損失合計	55	14
税金等調整前四半期純利益	10,781	10,955
法人税等	3,981	4,110
少数株主損益調整前四半期純利益	6,799	6,844
少数株主利益	246	2
四半期純利益	6,552	6,842

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,799	6,844
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,539	2,633
為替換算調整勘定	2,492	△934
退職給付に係る調整額	—	24
持分法適用会社に対する持分相当額	△152	△730
その他の包括利益合計	7,878	993
四半期包括利益	14,678	7,838
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,579	8,048
少数株主に係る四半期包括利益	1,098	△210

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	45,258	8,430	9,870	63,558	—	63,558
セグメント間の 内部売上高又は振替高	82	—	—	82	△82	—
計	45,340	8,430	9,870	63,641	△82	63,558
セグメント利益又は損失(△)	9,160	△16	317	9,460	△2	9,457

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	49,252	10,573	15,319	75,145	—	75,145
セグメント間の 内部売上高又は振替高	411	—	—	411	△411	—
計	49,663	10,573	15,319	75,557	△411	75,145
セグメント利益	9,204	110	67	9,383	61	9,444

(注) 1. セグメント利益の調整額61百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 第1四半期連結会計期間において、マルイチメックス S.A. de C.V.を連結の範囲に含めたため、北米事業における資産の金額が著しく増加しております。この結果、当該増加額を含めた第2四半期連結会計期間末の北米事業の資産残高は、17,067百万円(前連結会計年度末15,671百万円)であります。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。